

(社)北方圏センターは、平成8年度から、国際協力事業団（JICA）北海道国際センター（札幌・帯広）施設の管理運営を行っています。

両国際センターは、日本の知識や技術を習得してもらうためにJICAが受け入れをし、各種の研修コースに参加する開発途上国からの研修員が研修期間中滞在するほか、地域市民との交流の場としても活用されています。

札幌 (HICS)

札幌市白石区本通16丁目南4番25号



JICA研修員と 川北小学校児童との交流会

2月2日(土)に、北方圏センター札幌国際センターの事業として、JICA研修員が札幌市立川北小学校を訪問した。

まだ、冷えこみの厳しい朝9時前に、ブラジル、パキスタン、ウズベキスタン、ブルキナ・ファソなどからの研修員22名、通訳などの手助けをしてくれるボランティア3名など、一行約30名で北海道国際センター(札幌)を出発、市立川北小学校へ向かう。児童の出迎えを受けた研修員は、総合的な学習の一環として「遊び歌で交流しよう」をテーマとした学年毎の交流会で、いっしょに歌やゲームを楽しんだ。また、南米の研修員は歌や音楽が始まると教室中を動き回って遊びの輪を広げていた。後半は体育館での全体交流会に参加したほか、最後に児童から「ドレミの歌」が披露され国際理解を深め合った。



JICA北海道国際センター

帯広 (HICO)

帯広市西20条南6丁目1番地2



恒例のロビーコンサート —今回はプロの劇団が登場—

4年前に始まったHICOのロビーコンサートも、節目の50回まであと1回。4月19日(金)開催の49回目は、地元十勝川温泉笹井ホテルのご好意で、同ホテルで特別公演中の劇団「夢の旅」がボランティアで出演してくれた。

座長瞳ひろしの歌や踊り、お笑いコンビのショーや剣劇とプロの出演とあって、センター滞在中の研修員ばかりでなく地域の人たちも大勢見物にやってきて会場のラウンジいっぱいには置いた椅子は満席となり、立ち見も出る大盛況であった。

特に、「サムライ姿」の役者さんたちや日本情緒いっぱいの演目や、化粧風景や早着替えなど普段は見られない舞台裏も披露してもらい研修員たちも大喜びであった。

